

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ①

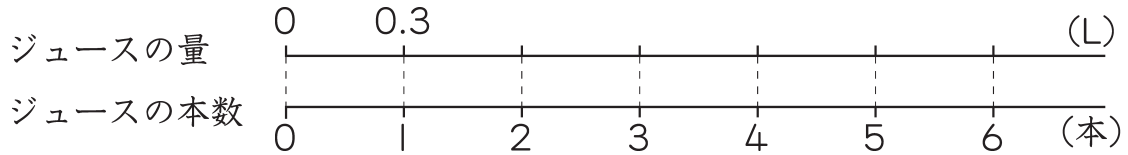
名前

組 番

ねらい 純小数×整数の乗法計算の仕方を考える。

◎ 技 知

- ① 0.3L入りのジュースを6本買いました。
ジュースは、全部で何Lあるでしょうか。



- ① どんな式を書けばよいでしょうか。 <式>
- ② あやのさんとけんじさんが、計算のしかたを説明しています。
□にあてはまる数を書きましょう。

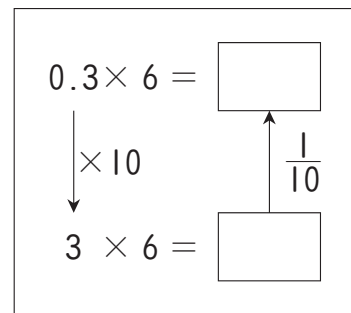
<あやのさん> 0.1をもとに考える

0.3は0.1の □ こぶんだから、 $0.3 \times 6 = 0.1 \times \square \times \square$
 $= 0.1 \times \square$

0.1の □ こぶんだから、答えは □

<けんじさん> かけられる数を10倍して考える

0.3×6 の0.3を □ 倍すると
 3×6 になるので、その答えを $\frac{\square}{\square}$ すると
 答えは □ になります。



- ② 次の計算を、かけられる数を10倍にして考えましょう。
□にあてはまる数を書きましょう。

① $0.4 \times 6 = \square$
 $\downarrow \times 10$
 $\square \times 6 = \square$
 $\uparrow \frac{1}{10}$

② $0.7 \times 8 = \square$
 $\downarrow \times 10$
 $\square \times 8 = \square$
 $\uparrow \frac{1}{10}$

110

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ㉔

名前

組 番

ねらい 小数×整数の乗法計算の仕方を考え、筆算ができる。

④⑤知

① 2.7×8 の計算のしかたを考えましょう。

〈0.1をもとにして〉

$$2.7 \times 8$$

↓

0.1が(×)こ分

$$2.7 \times 8 = \text{ }$$

〈かけられる数を10倍にして〉

$$2.7 \times 8 = \text{ }$$

↓ 10倍

$$\text{ } \times 8 = \text{ }$$

↑

◎ 2.7×8 の積は、 27×8 の積を $\frac{\text{ }}{\text{ }}$ にしたものになる。

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \xrightarrow{10\text{倍}} \begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline \text{ } \end{array} \xrightarrow{\text{答えを}\frac{1}{10}\text{にする}} \begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline 21.6 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① 4.2×3

② 2.9×3

③ 8.4×4

④ 0.9×2

⑤ 0.5×9

⑥ 13.6×2

⑦ 17.8×6

⑧ 48.7×6

111

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ③

名前

組 番

ねらい 被乗数が1/100の位までの小数の場合の乗法計算の仕方を考える。 (考) (技) (知)

① 1 mの重さが1.26 kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう 8 mの重さは何 kg でしょうか。

- ① どんな式になりますか。 <式>
- ② たかしさんとゆらんさんが計算のしかたを考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。

〈たかしさん〉
0.01をもとにして考える

$$1.26 \times 8$$

↓

$$0.01 \times (\square \times \square)$$

〈ゆらんさん〉
かけられる数を100倍して考える

$$1.26 \times 8 = \square$$

↓ 100倍

$$126 \times 8 = \square$$

↑

□
□

- ③ 筆算のしかたを考えましょう。
1.26 × 8 を 128 × 8 と考えて
計算をしました。積の小数点は、どこに
うてばよいでしょうか。
右の筆算の積に小数点をうちましょう。

$$\begin{array}{r} 1.26 \\ \times \quad 8 \\ \hline 1008 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

- ① 1.38 × 6
- ② 4.79 × 8
- ③ 0.87 × 7
- ④ 3.04 × 64
- ⑤ 7.41 × 27
- ⑥ 0.86 × 58

112

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ④

名前

組 番

ねらい

積の末位が0になる場合の乗法計算と、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法計算ができる。 (考) (技) 知

- ① 1.24×5 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 1.24 \\ \times \quad 5 \\ \hline 6.20 \end{array}$$

- ① 右の筆算の積の6.20と □ は
同じ大きさなので、一の位の0をけす。

- ② 0.25×3 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 0.25 \\ \times \quad 3 \\ \hline 0.75 \end{array}$$

- ① 右の筆算は積の75と □ を
つけたして、答えを0.75とします。

- ③ 0.326×24 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 0.326 \\ \times \quad 24 \\ \hline 1304 \\ 652 \\ \hline 7.824 \end{array}$$

- ① 右の筆算は、小数点がないものとして、
 326×24 の計算をします。
そして、積の7824を □ で
わって小数点をうちます。

- ④ 次の計算をしましょう。

① 0.48×5

② 3.75×4

③ 0.14×3

④ 0.25×2

⑤ 0.034×5

⑥ 1.875×24

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑤

名前

組 番

ねらい 小数÷整数の計算の仕方を考える。

⑤ 技知

① 次の①、②、③の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

① $1.8 \div 6$

<0.1をもとにして>

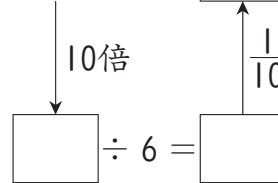
$1.8 \cdots \cdots 0.1$ が □ こ

$1.8 \div 6 \cdots 0.1$ が □ ÷ □ こ

$1.8 \div 6 =$ □

<わられる数を10倍して>

$1.8 \div 6 =$ □



② $6.4 \div 2$

<0.1をもとにして>

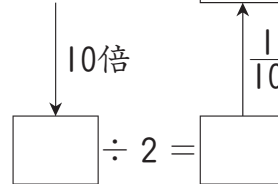
$6.4 \cdots \cdots 0.1$ が □ こ

$6.4 \div 2 \cdots 0.1$ が □ ÷ □ こ

$6.4 \div 2 =$ □

<わられる数を10倍して>

$6.4 \div 2 =$ □



③ $4.8 \div 6$

<0.1をもとにして>

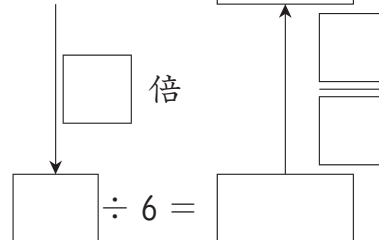
4.8は □ が □ こ

$4.8 \div 6$ は □ が □ ÷ □ こ

$4.8 \div 6 =$ □

<わられる数を10倍して>

$4.8 \div 6 =$ □



114

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑥

名前

組 番

ねらい 小数÷整数の計算の仕方を考え、筆算ができる。

⑧⑨知

① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 5 \overline{) 8.5} \\ \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ 7 \overline{) 94.5} \\ \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 4 \overline{) 12.8} \\ \square \square \\ \hline \square \\ \square \\ \hline 0 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $8.4 \div 3$

② $9.2 \div 4$

③ $9.6 \div 6$

④ $42.5 \div 5$

⑤ $11.9 \div 7$

⑥ $12.6 \div 3$



115

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑦

名前

組 番

ねらい

商が1より小さくなる場合や除数が2位数の場合の除法計算ができる。

③ 考 技 知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 9 \overline{) 5.4} \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 3 \overline{) 0.9} \\ \square \\ \hline 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 21 \overline{) 18.9} \\ \square \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① $6.4 \div 8$

② $4.2 \div 7$

③ $68.8 \div 16$

④ $81.6 \div 24$

⑤ $7.8 \div 13$

⑥ $24.3 \div 27$

⑦ $121.6 \div 38$

⑧ $179.8 \div 29$

116

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑧

名前

組 番

ねらい

被除数が1/100の位、1/1000の位までの除法計算ができる。

⑧ 考 技 知

① 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

② 次の計算をしましょう。

① $0.63 \div 9$

② $60.25 \div 5$

③ $71.91 \div 17$

④ $57.04 \div 23$

	□	□	□
3)	7	.	3 2
	□		
	□	□	
	□	□	
		□	□
		□	□
			0

③ 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

④ 次の計算をしましょう。

① $7.684 \div 4$

② $0.114 \div 6$

③ $3.379 \div 31$

④ $0.072 \div 12$

	□	□	□	□
48)	3	.	2 6 4	
	□	□	□	
		□	□	
		□	□	
			0	



117

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑨

名前

組 番

ねらい わり進む除法計算の仕方を考える。

⑨ 考 技 知

① 次の計算の□にあてはまる数を書きましょう。

また、商には小数点もうちましょう。

① 4.2を4.20とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ 5 \overline{) 4.2} \\ \square \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

② 6.3を6.30とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ 6 \overline{) 6.3} \\ \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

③ 6を6.00とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ 25 \overline{) 6} \\ \square \square \\ \hline \square \square \square \\ \square \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \div 4$

② $64.2 \div 40$

③ $49.78 \div 76$

④ $0.18 \div 50$

⑤ $3 \div 24$

⑥ $1 \div 16$

118

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑩

名前

組 番

ねらい

わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算の仕方を考える。

⑧ ⑨ 知

① 5 ÷ 3 の計算について、次の問いに答えましょう。

① 5 ÷ 3 の計算を筆算でしましょう。 ➡

② 商は^{ししごにゅう}四捨五入して、^{くらい} $\frac{1}{10}$ の位までのがい数^{もと}で求めましょう。

・何の位で四捨五入すればよいでしょうか。

() の位で四捨五入する。

・答え

(^{やく}約)

② 2.5L のジュースを7人で等分します。

1人分は約何Lになるでしょうか。

商は四捨五入して、 $\frac{1}{100}$ の位までのがい数で求めましょう。

答え (約)

③ 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めましょう。

答えには約をつけようね。

① 7 ÷ 6

② 8 ÷ 7

③ 7.8 ÷ 9

()

()

()

④ 14 ÷ 32

⑤ 34 ÷ 29

⑥ 30.5 ÷ 17

()

()

()

119

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑪

名前

組 番

ねらい

小数÷整数の除法のあまりの大きさについて考える。

④⑤知

① 長さが23.5cmのテープがあります。

このテープを4cmずつ切ると、4cmのテープは何本できて、何cmあまるでしょうか。

- ① どんな式になるでしょうか。 <式>
- ② テープの本数は、整数になるでしょうか。それとも小数になるでしょうか。

()になる。

③ 商は何の位くらいまで求めればよいでしょうか。

()の位。

④ 筆算をしましょう。 →

⑤ あまりはいくつでしょうか。

()

⑥ 答えを書きましょう。

()本できて、()cmあまる。

② 商は $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりも求めましょう。

① $14.2 \div 6$

()

② $10.7 \div 7$

()

③ $23.6 \div 9$

()

④ $27.3 \div 15$

()

⑤ $12.1 \div 17$

()

⑥ $17.7 \div 21$

()

120

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑫

名前

組 番

ねらい 何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。

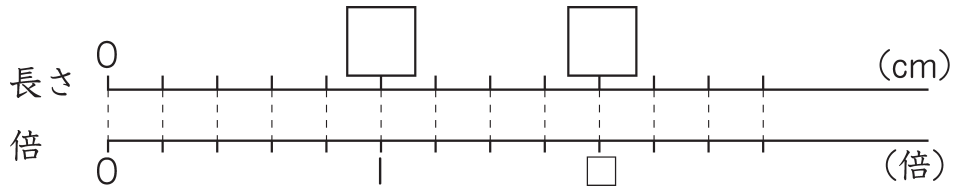
考技 ⑩

① 赤色のテープと白色のテープがあります。

赤色のテープの長さは90cm、白色のテープの長さは50cmです。

赤色のテープの長さは、白色のテープの長さの何倍でしょうか。

① にあてはまる数を書いて、場面を数直線に表しましょう。



② 90cmと50cmのどちらを1とみればよいでしょうか。 答え () cm

③ 式に表して、答えを求めましょう。

<式>

答え

④ 白いテープの長さを1とみると、赤いテープの長さは何倍にあたるでしょうか。

() にあたる。

② 白のテープが6m、赤のテープが9m、青のテープが12mあります。

① 青のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

<式>

答え

② 赤のテープの長さは、青のテープの長さの何倍でしょうか。

<式>

答え

③ 赤のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

<式>

答え

121

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑬

名前

組 番

ねらい

小数×整数、小数÷整数についての学習を活用して問題を解決することができる。

④ 技 知

- ① 学校の中からかけ算やわり算が使える場面を見つけて、問題をつくります。
次のけんじさんと、ゆみさんが見つけた場面を使って問題をつくりましょう。
また、その問題の解答（式と答え）も書きましょう。

(けんじ)

学校の階だんの1だん分の高さは15.8cmで、1階から2階までと、
2階から3階までのだん数はそれぞれ27だんです。

◆かけ算の問題をつくりましょう。

(ゆみ)

学校の教室のゆかのタイルは、1辺が30.3cmの正方形です。
教室の横には、このタイルが1列に32まいならんでいます。また、
教室の天井には、正方形のパネルが横に22まいならんでいます。

◆わり算の問題をつくりましょう。

16. 立体 ①

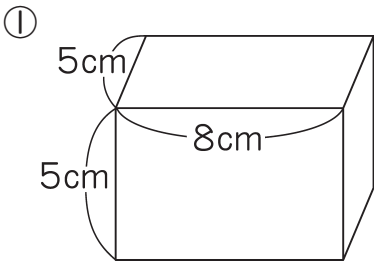
名前

組 番

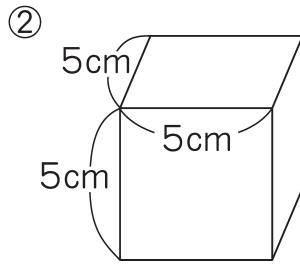
ねらい 直方体、立方体の意味を理解する。

考技 ③

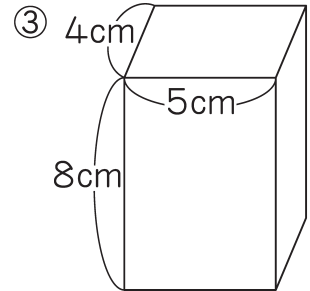
① 次の () の中に立体の名前を書きましょう。



()

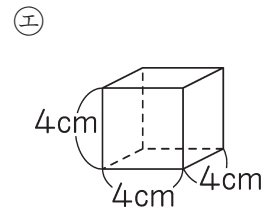
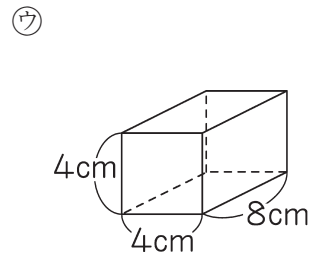
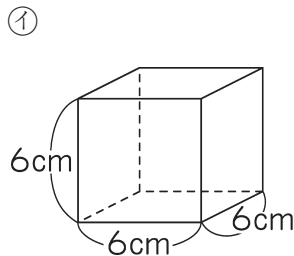
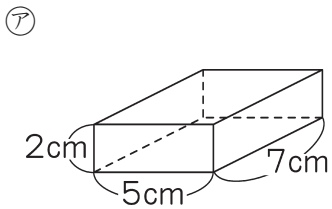


()



()

② 次の立体を見て、下の①～④にあてはまる立体の記号を書きましょう。



① 正方形と長方形でかこまれている立体 ()

② 正方形だけにかこまれている立体 ()

③ 長方形だけにかこまれている立体 ()

④ 立方体はどれでしょうか。 ()

16. 立体 ②

名前

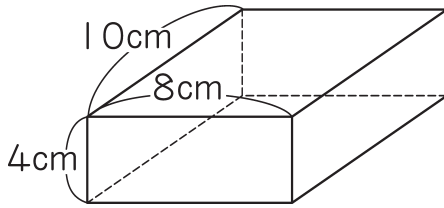
組 番

ねらい 直方体、立方体の構成要素や平面の意味を理解する。

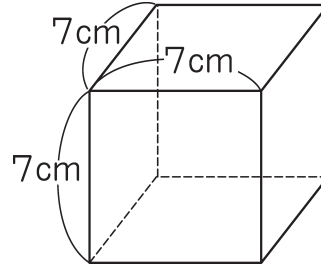
考技 (知)

① 下のような直方体や立方体について、下の表のあいているところにあてはまる数を
書きましょう。

直方体



立方体



	直方体	立方体
面		
頂点		
辺		

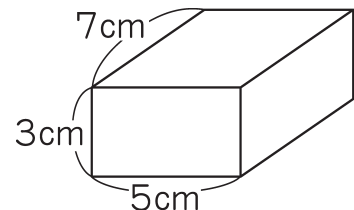
① 上の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

4 cmの辺 () 8 cmの辺 () 10cmの辺 ()

② 上の立方体には、どんな面の形がいくつあるでしょうか。

1辺7cmの () の面が、 () つある。

② 右の直方体には、どんな長さの辺が
いくつあるでしょうか。



124

16. 立体 ③

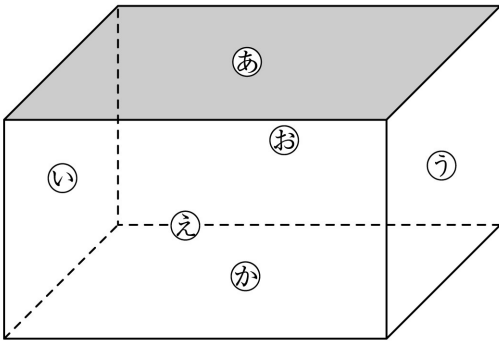
名前

組 番

ねらい 直方体、立方体の面や辺の垂直、平行関係を理解する。

考技 ⑨

① 下の直方体を見て、答えましょう。

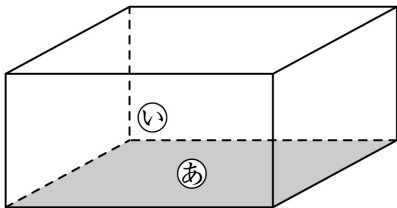


① 上の㊦の面と平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

② 横の㊩の面と平行な面はどれでしょうか。

面 ()

② 下の直方体を見て、答えましょう。



① 下の㊬の面に^{すいちよく}垂直な面は、いくつあるでしょうか。

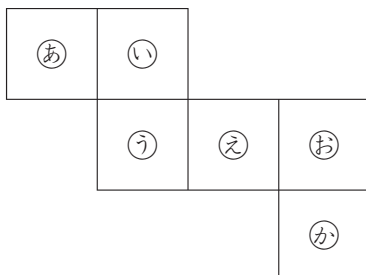
()

② ㊩の面に平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

③ 直方体の面のように、平らな面を何というでしょうか。

()

③ 下の展開図を組み立ててできる立方体で、面㊦と平行になる面はどれでしょうか。



面 ()



名前

組 番

ねらい

直方体、立方体の面と面、面と辺、辺と辺の垂直や平行について調べる。

⑤ 技知

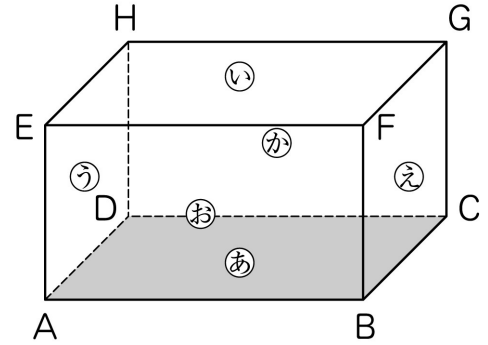
① 右の直方体を見て、答えましょう。

① ① ② ^{すいちよく へん}あの面と垂直な辺を書きましょう。

()

② 辺EAと垂直な面を書きましょう。

()



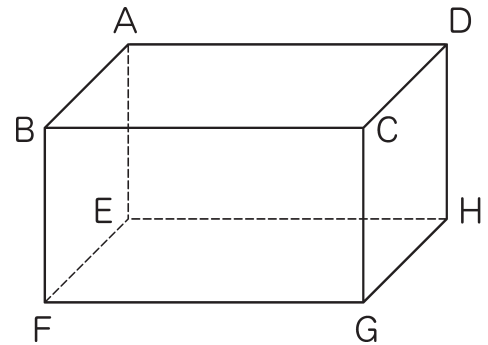
② 右の直方体を見て、答えましょう。

① 辺ABと平行な辺を書きましょう。

()

② 辺GHと垂直な辺を書きましょう。

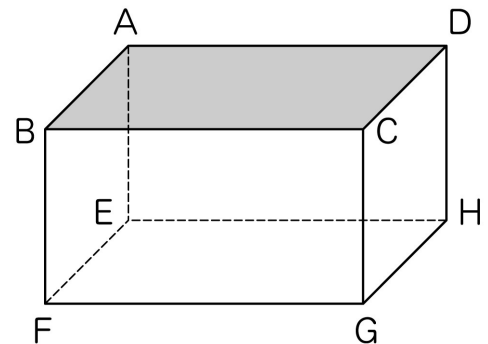
()



③ 右の直方体を見て、答えましょう。

面ABCDと垂直な面は、いくつあるでしょうか。

()



126

16. 立体 ⑤

名前

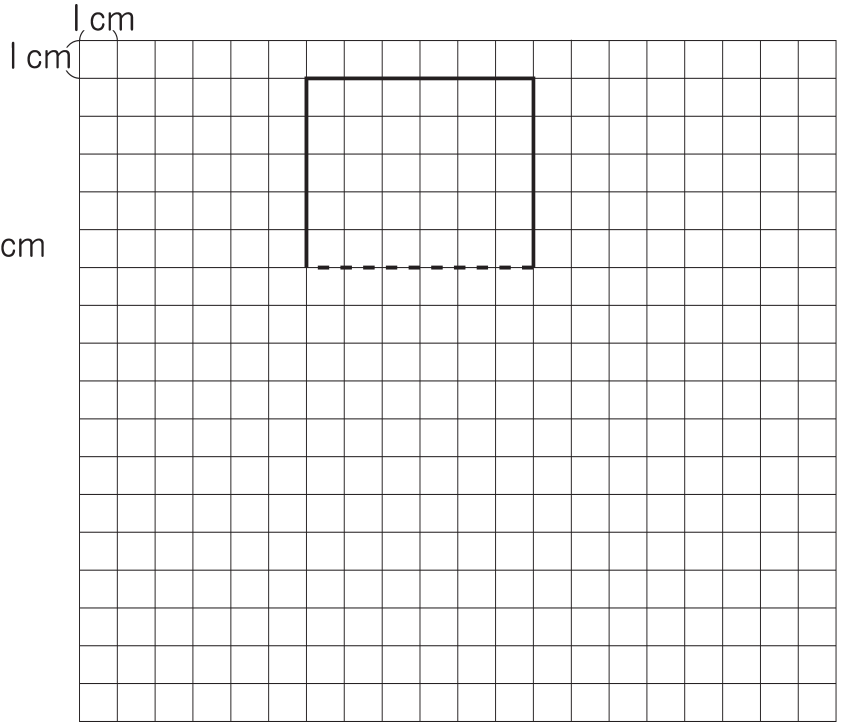
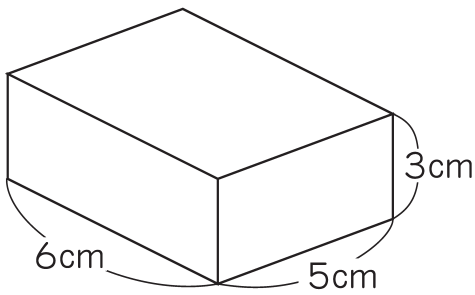
組 番

ねらい 展開図の意味を理解し、展開図をかくことができる。

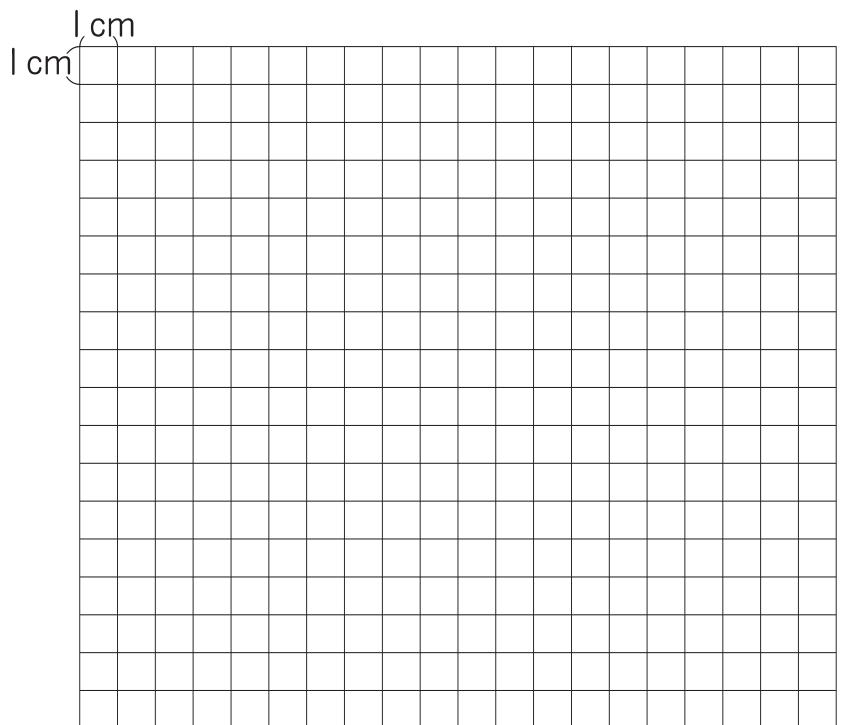
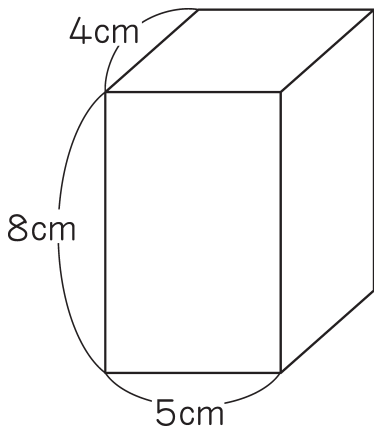
考(技)知

① 次の直方体の展開図をつづけてかきましょう。(1目もりが1cmとします)

①



②



127

16. 立体 ⑥

名前

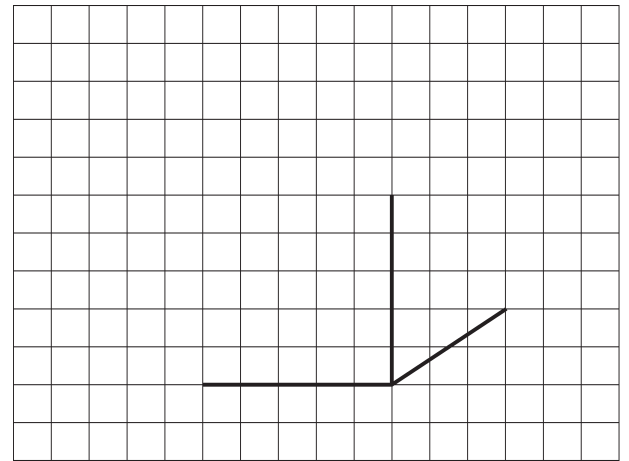
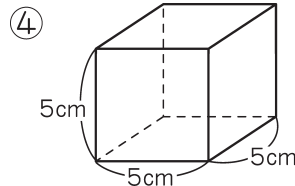
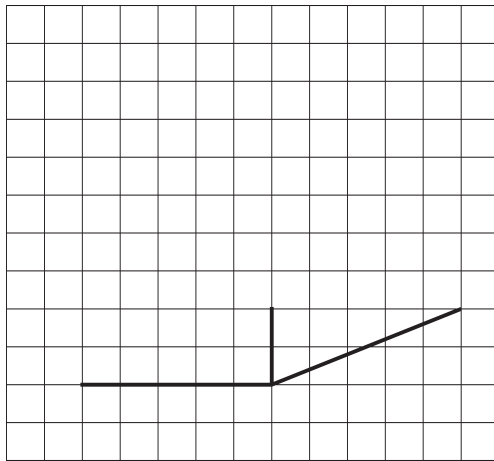
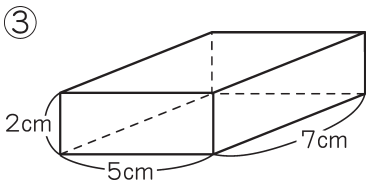
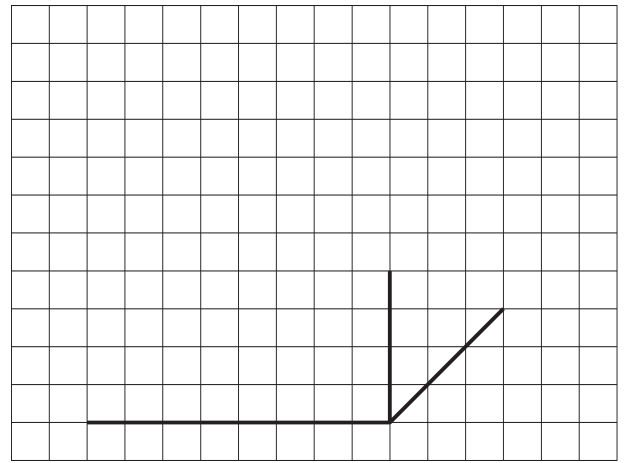
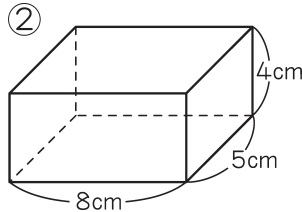
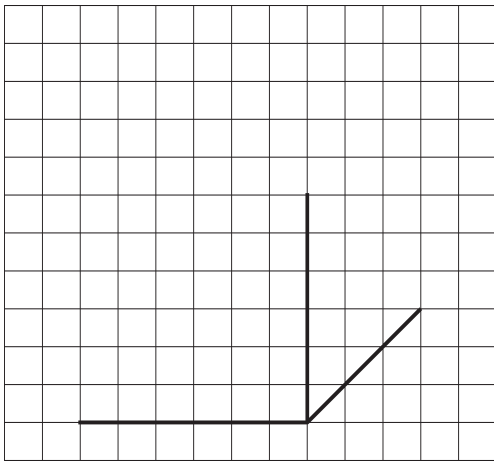
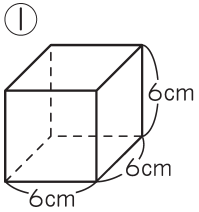
組 番

ねらい

見取り図の意味を理解し、直方体や立方体の見取り図をかきことができる。

考(技)(知)

① 次の立方体や直方体^{みとりず}の見取り図をかきましょう。(1目もりが1cmとします)



16. 立体 ⑦

名前

組 番

ねらい

立方体のいろいろな展開図を考え、面と面のつながりや立体図形と平面図形について理解を深める。

③ 考 技 知

① 立方体の展開図のつづきをかいて、いろいろな展開図を完成させましょう。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

② 上の展開図以外にあと2つあります。わかったら、かきましょう。

16. 立体 ⑧

名前

組 番

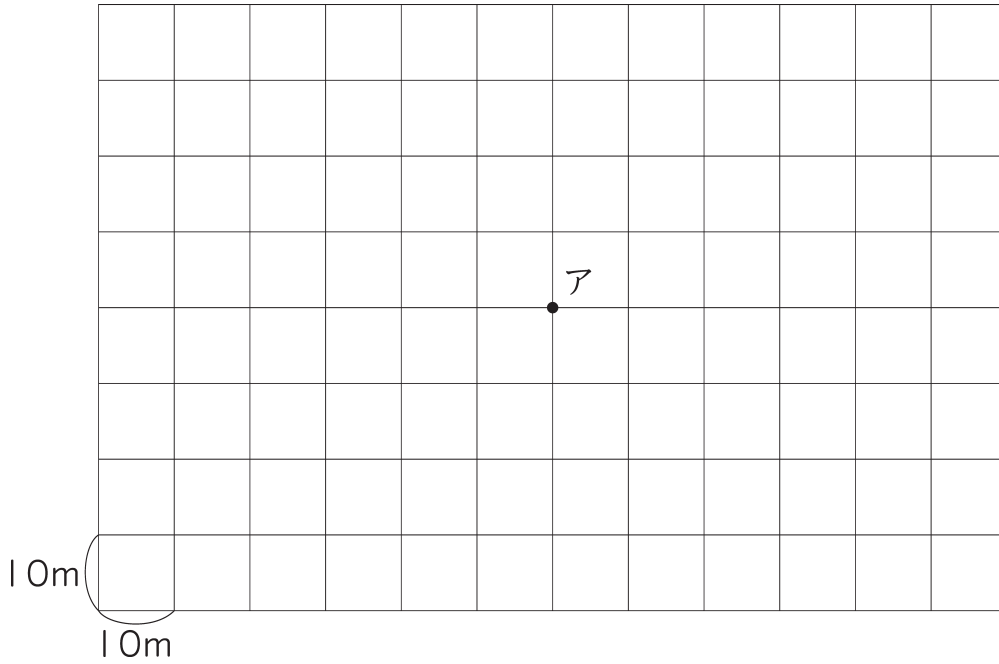
ねらい

平面の上にある点の位置、空間の中にある点の位置の表し方を考え、表すことができる。

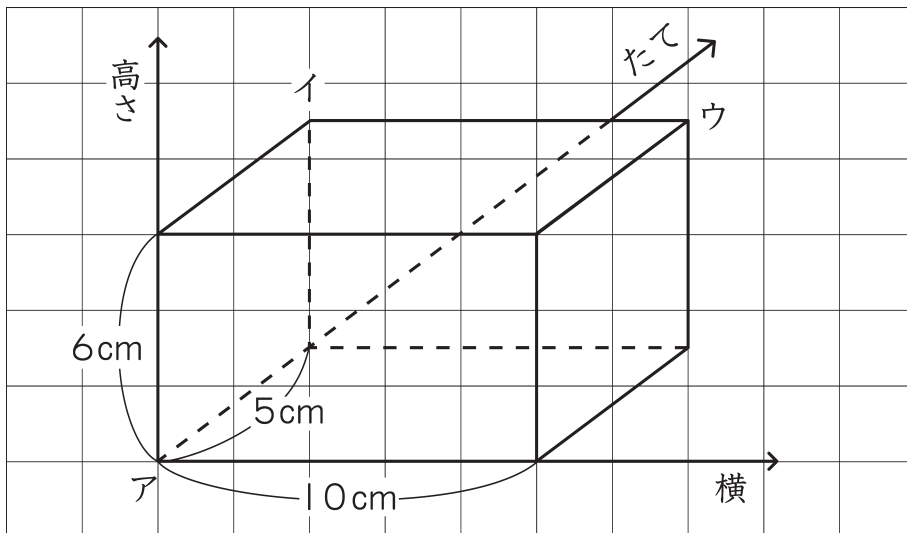
⑧ ⑧ 知

1 下の図に、点アの位置をもとにして、点イ、点ウをかき入れましょう。

点イ (東 30m、北 20m) 点ウ (西 40m、南 40m)



2



※1目もりは1cmです。

上のような直方体で、頂点アをもとにすると、頂点イ、ウの位置はどのように表すことができるでしょうか。

点イ (横 たて 高さ)

点ウ (横 たて 高さ)

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ①

名前

組 番

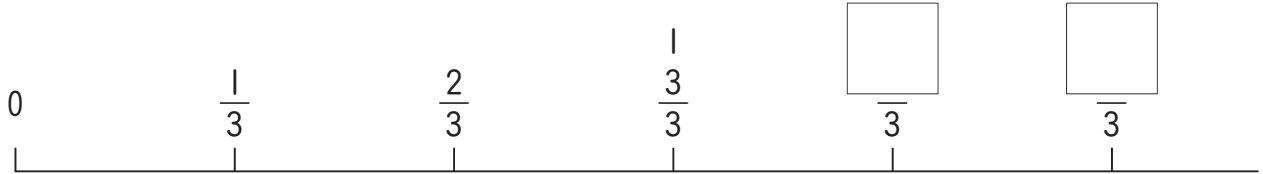
ねらい

1より大きい分数の表し方や、「帯分数」「仮分数」「真分数」の用語を理解する。

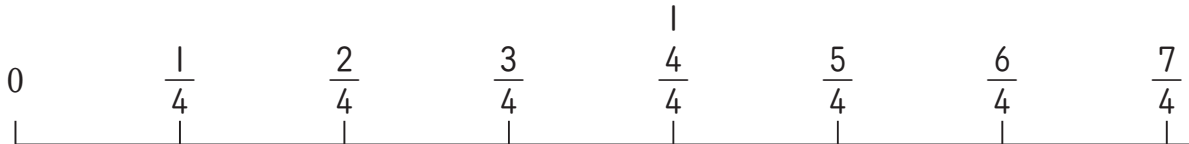
考技(知)

① $\frac{1}{3}$ の4こ分、5こ分の大きさを分数で表しましょう。

① 下の□に、それぞれの分子を書きましょう。



② 下の数直線を見て、答えましょう。



① $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ のいくつ分の大きさの分数でしょうか。

② $\frac{5}{4}$ は1とどんな大きさの分数を合わせたのでしょうか。

③ 下の()にあてはまる言葉を書きましょう。

① $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{3}{5}$ のように、分子が分母より小さい分数を()とといいます。

② $\frac{3}{3}$ 、 $\frac{5}{2}$ 、 $\frac{6}{4}$ のように、分子が分母と等しいか、分子が分母より大きい分数を()とといいます。

③ $1\frac{3}{4}$ 、 $2\frac{2}{5}$ のように、整数と^{しんぶんすう}真分数の和で表されている分数を()と
いいます。

④ 次の分数を^{かぶんすう}真分数、^{たいぶんすう}仮分数、帯分数に分けて、記号で答えましょう。

ア $3\frac{12}{14}$ ① $\frac{11}{7}$ ② $\frac{3}{3}$ ③ $\frac{5}{9}$ ④ $\frac{9}{12}$ ⑤ $\frac{13}{8}$ ⑥ $2\frac{6}{7}$ ⑦ $\frac{3}{25}$ ⑧ $11\frac{9}{10}$ ⑨ $\frac{21}{16}$

真分数() 仮分数() 帯分数()

131

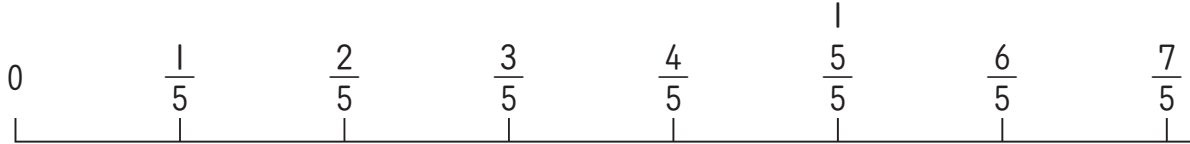
17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ②

名前

組 番

ねらい 「帯分数」「仮分数」「真分数」の大きさについて理解を深める。 考技 ③

① $\frac{7}{5}$ について、□にあてはまる数を書きましょう。



- ① $\frac{7}{5}$ は $\frac{1}{5}$ を □ こ集めた数です。 ② $\frac{7}{5}$ は1と $\frac{1}{5}$ を □ こ集めた数です。
 ③ $\frac{7}{5}$ は1より □ 大きい数です。 ④ $\frac{7}{5}$ は1と □ を合わせた数です。

② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

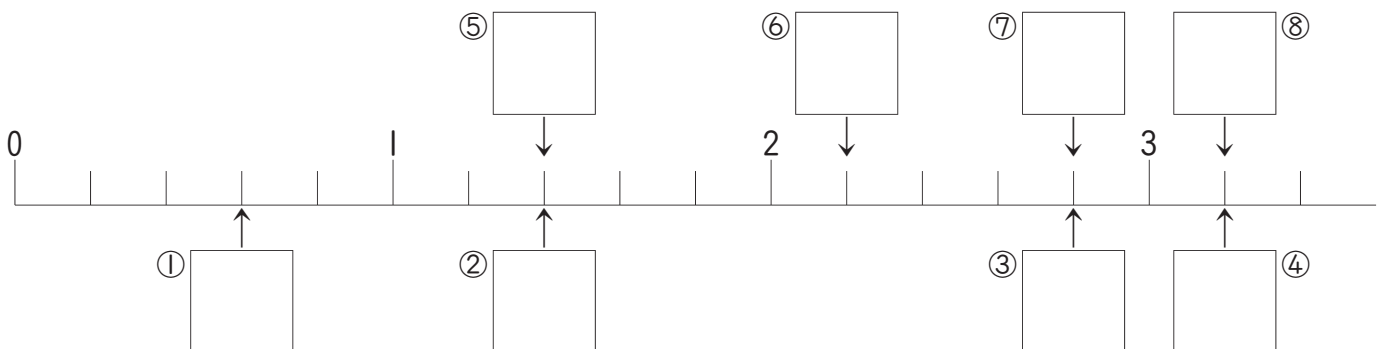
- ① 3 Lと $\frac{1}{4}$ Lの和は □ Lです。 ② 2 mと □ mの和は $2\frac{2}{3}$ mです。
 ③ □ が6 こ集まった分数は $\frac{6}{7}$ です。 ④ □ が5 こ集まった分数は $\frac{5}{5}$ です。
 ⑤ 2と $\frac{1}{8}$ の和は □ です。 ⑥ 6と □ の和は $6\frac{5}{6}$ です。

③ () の中の数を、小さい順に不等号ふとうごうを使って書きましょう。

① $(3\frac{1}{7} \quad \frac{23}{7} \quad \frac{20}{7})$

② $(\frac{34}{6} \quad 5\frac{5}{6} \quad 6)$

④ ①から④には真分数しんぶんすうか仮分数かぶんすう、⑤から⑧には帯分数たいぶんすうを書きましょう。



17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ③

名前

組 番

ねらい

帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数で表すことができ、
仮分数と帯分数の大きさの比較の仕方を理解する。

考(技)知

① 次の帯分数を仮分数たいぶんすう かぶんすうになおしましょう。

① $1\frac{1}{3} = \square$

② $2\frac{1}{4} = \square$

③ $1\frac{3}{10} = \square$

④ $3\frac{2}{7} = \square$

⑤ $3\frac{4}{5} = \square$

⑥ $8\frac{1}{2} = \square$

⑦ $2\frac{5}{6} = \square$

⑧ $4\frac{3}{10} = \square$

⑨ $4\frac{7}{8} = \square$

② 次の仮分数を帯分数か整数で表しましょう。

① $\frac{30}{6} = \square$

② $\frac{29}{7} = \square$

③ $\frac{31}{5} = \square$

④ $\frac{49}{8} = \square$

⑤ $\frac{26}{3} = \square$

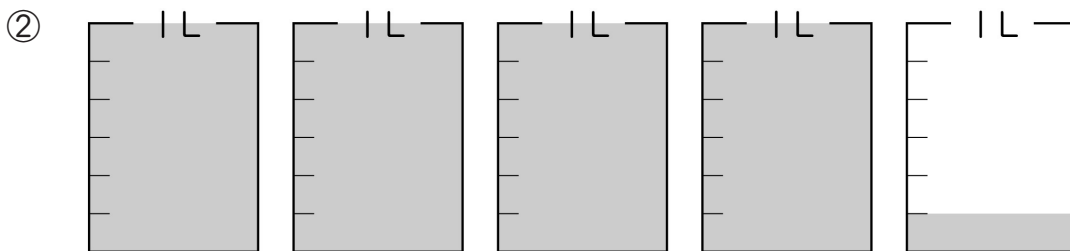
⑥ $\frac{100}{10} = \square$

③ 下の図の長さやかさを仮分数、帯分数もとで求めましょう。



仮分数 \square m

帯分数 \square m



仮分数 \square L

帯分数 \square L



133

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ④

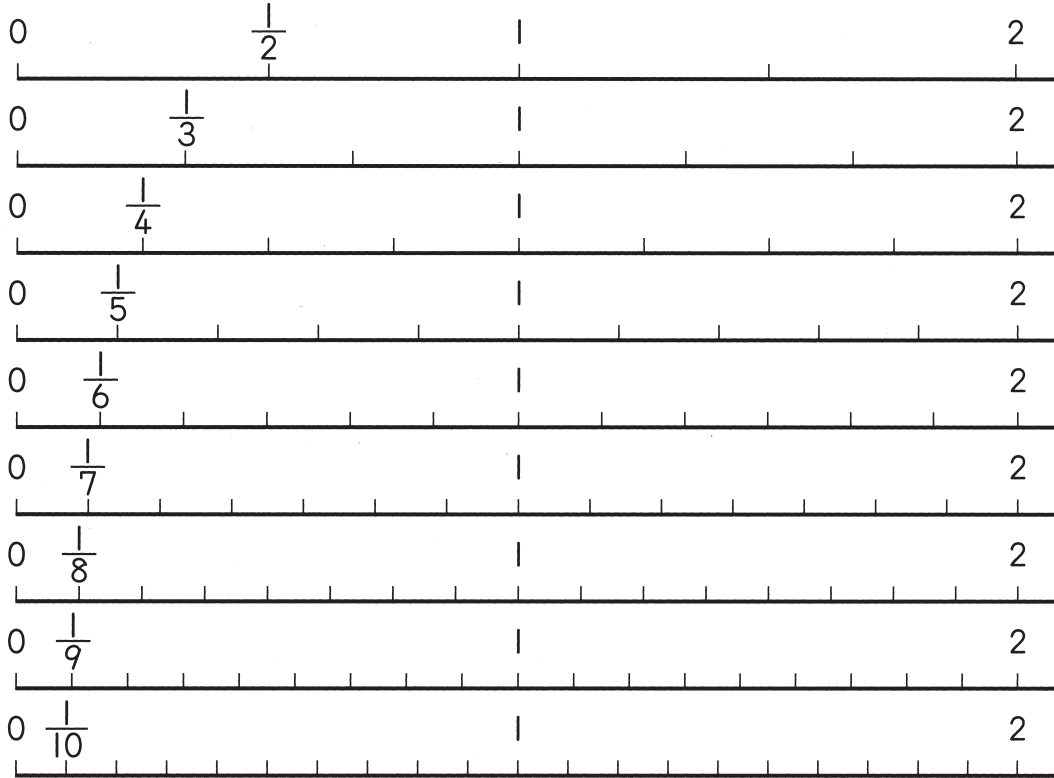
名前

組 番

ねらい 大きさの等しい分数があることを理解する。

考技 知

① 下の数直線を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



① $\frac{1}{2} = \square = \square = \square = \square$

② $\frac{1}{3} = \square = \square$

③ 上の数直線で0から2の間にある分子が2の分数を小さい方から順に書きましょう。

② 上の数直線を使って () の中の数を大きい順に並べ、^{ふとうごう}不等号を使って書きましょう。

① $(\frac{1}{8} \quad \frac{1}{3} \quad \frac{1}{6} \quad \frac{1}{4})$

② $(\frac{5}{10} \quad \frac{5}{2} \quad \frac{5}{7} \quad \frac{5}{5})$



134

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑤

名前

組 番

ねらい 同分母の真分数、仮分数の加法計算の仕方を考える。

⑤ 技知

① $\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{7}{6}$ は が 公分 $\frac{4}{6}$ は が 公分

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ は が (+) 公分になるから、

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6} =$ たいぶんすう 帯分数になおすと、

$=$

② $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{8}$ は が 公分 $\frac{11}{8}$ は が 公分

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は が (+) 公分になるから、

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8} =$ 帯分数になおすと、

$=$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑥

名前

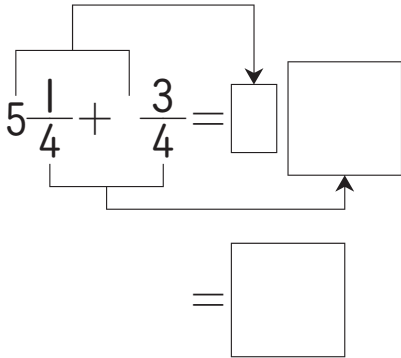
組 番

ねらい 同分母の帯分数の加法計算の仕方を考える。

⑧ 技知

① $5\frac{1}{4} + \frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えましょう。

＜整数と真分数に分けて考える＞



① 整数どうしのたし算をする。

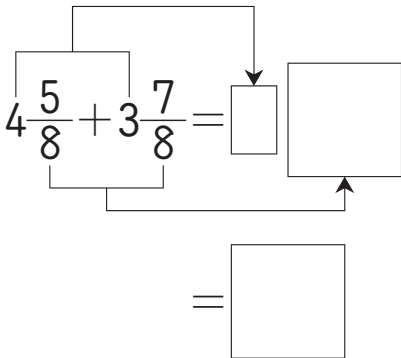
$$5 + 0 = 5$$

② 分数どうしのたし算をする。

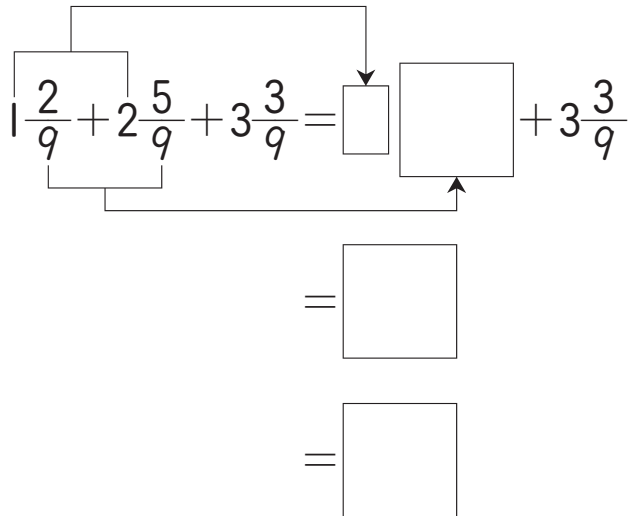
$$\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4}$$

③ ^{たいぶんすう} 帯分数または整数になおす。

②



③



④ どのように計算したのかがわかるように、①～③のような矢印を書いて計算しましょう。

①

$$8\frac{4}{5} + 3\frac{2}{5} = \square \square$$

$$= \square$$

②

$$9\frac{4}{7} + 1\frac{3}{7} = \square \square$$

$$= \square$$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑦

名前

組 番

ねらい 同分母の真分数、仮分数の減法計算の仕方を考える。

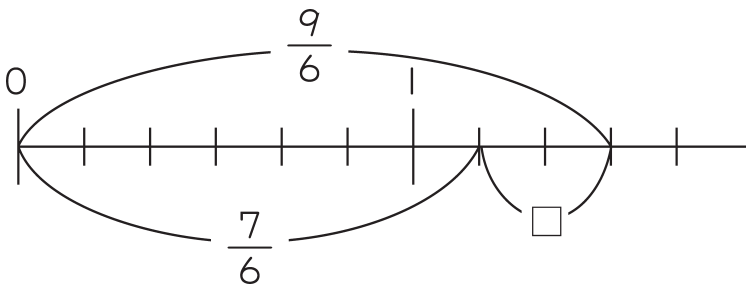
⑦ 技知

① $\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{6}$ は が 公分 $\frac{7}{6}$ は が 公分

$\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ は が (-) 公分になるから、

$\frac{9}{6} - \frac{7}{6} =$



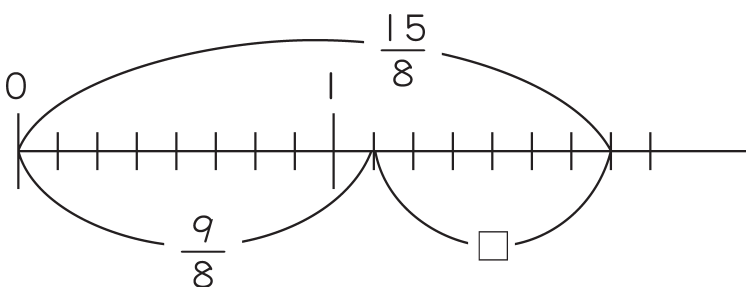
にあてはまる数は

② $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{15}{8}$ は が 公分 $\frac{9}{8}$ は が 公分

$\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は が (-) 公分になるから、

$\frac{15}{8} - \frac{9}{8} =$



にあてはまる数は

137

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑧

名前

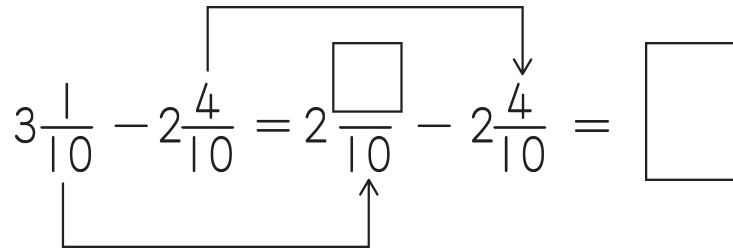
組 番

ねらい 同分母の帯分数の減法計算の仕方を考える。

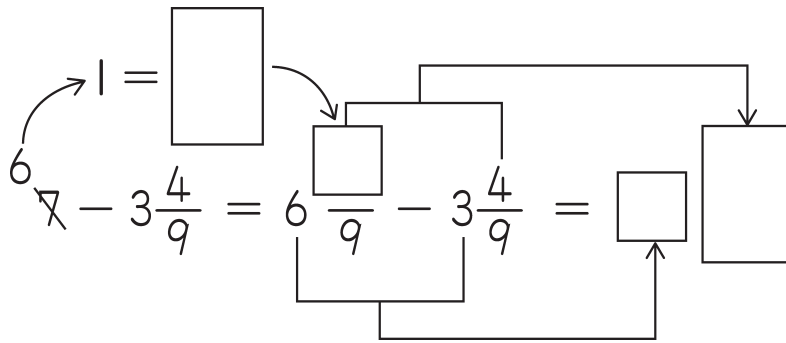
⑧ 考 技 知

① $3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10}$ の計算のしかたを考えましょう。

〈整数と仮分数に分けて考える〉

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = 2\frac{\square}{10} - 2\frac{4}{10} = \square$$


② $7 - 3\frac{4}{9}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$7 - 3\frac{4}{9} = 6\frac{\square}{9} - 3\frac{4}{9} = \square \square$$


③ 上のやり方で、計算しましょう。

① $4\frac{3}{8} - 2\frac{5}{8}$

② $3 - 1\frac{1}{13}$

③ $3\frac{7}{12} - 2\frac{10}{12}$

④ $10 - 4\frac{5}{6}$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑨

名前

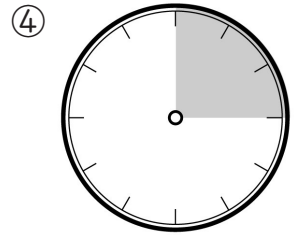
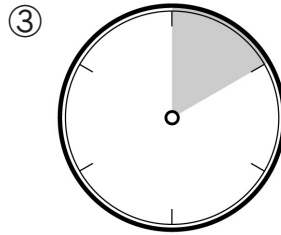
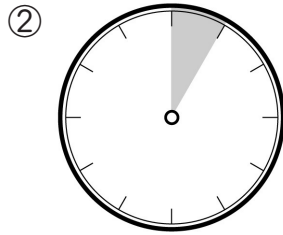
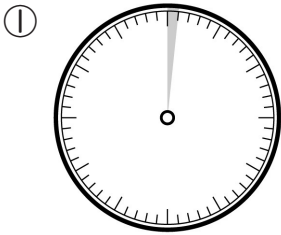
組 番

ねらい

時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数についての理解を
深める。

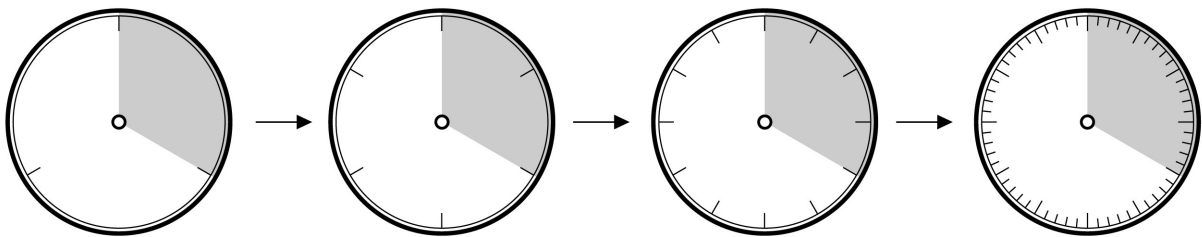
考技(知)

1 □にあてはまる数を書きましょう。



- ① 1分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間
- ② 5分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間
- ③ 10分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間
- ④ 15分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間

2 時間を分数に表す方法を使って、 $\frac{1}{3} + \frac{1}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

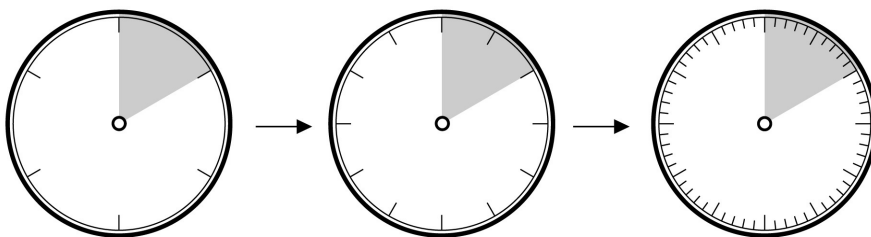


20分きざみで
 $\frac{1}{3}$ 時間

10分き
ざみで 時間

5分き
ざみで 時間

1分き
ざみで 時間



10分きざみで
 $\frac{1}{6}$ 時間

5分き
ざみで 時間

1分き
ざみで 時間

$$\frac{1}{3} + \frac{1}{6} = \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$